

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	36211
事業名	家庭ごみ処理手数料管理費					
評価担当課	所 属	環)環境事業部 循環型社会推進			電話番号	011-211-2912
施策名	－					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託			○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	ごみの減量・資源化の促進を図るため、平成21年から指定ごみ袋制による家庭ごみの有料化を実施しており、家庭ごみ処理手数料を納めた市民に対し、指定ごみ袋を交付している。また、乳幼児がいる世帯や紙おむつサービスを受けている方に対しては、家庭ごみ処理手数料の減免を行っている。 指定ごみ袋にバイオマスプラスチックなど環境に配慮した素材を導入することが課題である。
	事業内容(何を実施し)	①家庭ごみ有料化に伴い導入した指定ごみ袋の管理(製造、保管、配送)や家庭ごみ処理手数料の収納管理②家庭ごみ処理手数料減免対象者への指定ごみ袋の無償交付等 ③公共の場所のボランティア清掃などで使用するボランティア袋の管理(製造、保管、配送、交付)
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	ごみ減量を促すとともに、ごみ処理費用の負担の公平性を確保するために導入された家庭ごみ処理手数料制度を維持し、安定した運営を行う。
	他都市の状況	有料化を実施している他の政令指定都市においても、指定ごみ袋による手数料徴収や小売店等の民間ルートを活用した供給体制の整備を行っており、減免制度も同等の水準で実施している。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☒ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	626,933 千円	うち特定財源	626,933 千円	正規職員業務量	1 人工
令和5年度予算額	841,435 千円	うち特定財源	841,435 千円	正規職員業務量	1 人工
令和5年度決算額	794,726 千円	うち特定財源	794,726 千円	正規職員業務量	1 人工
令和6年度予算額	745,854 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1 人工

指標	アウトプット活動指標1	家庭用指定ごみ袋製造枚数(供給状況の安定性)				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		86,138千枚	104,350千枚	113,912千枚	99,468千枚	100,000千枚	100,000千枚
	↓						
	アウトカム成果指標1	平均在庫量(月換算)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		4.12か月	4.5か月	4.78か月	3.5か月	3.5か月	3.5か月
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	指定ごみ袋については、年4回サイズごとに入札を行っており、今後も適正な在庫量の確保を行う。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2	市民意識調査における現在の制度が公平なルールであると思				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		81.20%	80%	82.90%	80%	80%	80%
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	隔年で実施している市民意識調査においては、現在の制度が公平なルールであると思う割合は約80%であり、費用負担の公平性については一定の理解が得られていると考えている。					

今年度の見直し内容	国の「プラスチック資源循環戦略」で、指定ごみ袋へのバイオマスプラスチック使用が重点戦略として示されているため、経費や供給体制など調査・研究を行っていく。
来年度以降の方向性	引き続き指定ごみ袋の安定的な供給を行い、市民の利便性を保持する。 バイオマスプラスチックの使用について、経費や供給体制など調査・研究を行っていく。